

事務事業名		吉浜漁港線道路新設・改良事業				☒ 実施計画登載事業		☐ 総合戦略登載事業			
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造				事業期間		予算科目			
	施策名	良好な生活空間の創造						会計	款	項	目
	基本事業名	生活道路の整備				☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 年度～) ☒ 期間限定複数年度 【計画期間】 平成24 年度～平成29 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		01	08	02	03
根拠法令								事務事業区分			
所属	部課名	都市整備部建設課						☒ A 政策事業 ☐ B 施設整備 ☐ C 施設管理 ☐ D 補助金等 ☐ E 一般(A～D以外)			
	課長名	阿部博基									
	係 名	土木係	電話	0192-27-3111							
	担当者	高橋史子	内線	316							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)					
津波により被災した吉浜漁港線(県道吉浜上荒川線から吉浜地区(字中井・字沖田・字川原・字横石)の農地内を通り、増館地域へ連絡する市道)の整備を行う。 本事業の計画は延長1,010m、幅員6.0mとする。											
【計画期間】 ・測量調査設計(1式) 平成24年度～平成25年度 ・用地補償 平成26年度 ・工事施工(L=550m) 平成26年度～平成27年度 ・工事施工(L=460m) 平成28年度～平成29年度 事業費は、委託費、土地購入費、補償金、工事費、事務費として支出される。											
						総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金		
								都道府県支出金			
								地方債			
								その他	252,000		
								一般財源	66,000		
							事業費計(A)	318,000			
						人件費	正規職員従事人数	10			
							延べ業務時間	1,506			
							人件費計(B)	6,024			
							トータルコスト(A)+(B)	324,024			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

工事施工(H28年度より繰越 L=210m)

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

市道吉浜漁港線

市道利用者

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

(市道吉浜漁港線が)整備される。

(市道利用者に)より安全で利用してもらう。

④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)

安全でより快適に移動できる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア 施工延長	m
イ	
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ 計画総延長	m
キ 主たる利用者数(漁家数×1人+三陸町吉浜字増館の住民)	人
ク	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称	単位
サ 十分な幅員で舗装された共用開始道路延長	m
シ 整備率(計画区間整備済延長/計画総延長)	%
ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

			年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)
			単位						
投入量	事業費	財源内訳	千 円						
		国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円						
		地方債	千 円						
		その他	千 円	93,289	28,850	31,877			
	人件費	一般財源	千 円	23,781	7,389	7,969			
		事業費計 (A)	千 円	117,070	36,239	39,846	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	2	2			
		延べ業務時間	時 間	464	328	328			
		人件費計 (B)	千 円	1,856	1,312	1,312	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千 円	118,926	37,551	41,158	0	0	0	
⑤活動指標	ア	m	1010	1010	1010				
	イ								
	ウ								
⑥対象指標	カ	m	1010	1010	1010				
	キ	人	340	340	340				
	ク								
⑦成果指標	サ	m	550	800	1010				
	シ	%	54%	79%	100%				
	ス								

事務事業ID	1235	事務事業名	吉浜漁港線道路新設・改良事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

吉浜漁港線が津波により被災したことから、復興交付金申請を行い、平成24年度より事業を開始した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

地域の理解が進み、協力的になった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

地域から早期完成を強く要望されている。

2 評価の部(SEE)＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 整備により、安全・快適に利用できる、都市環境の向上につながる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 公共施設の道路整備は、行政が行うことが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 被災した市道の整備であり、この事業により利用者が安全に利用できるようになるため適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 十分な幅員で舗装された道路計画延長となっていることから、これ以上の成果向上余地が認められない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 安全で快適に利用できない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の費用で実施していることから、削減の余地がない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限で対応していることから、削減の余地がない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 一般に供する道路であることから、受益費負担になじまない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果																						
平成29年度で事業完了した。		左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td>×</td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																								

4 課長等意見

(1) 今後の方向性 1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容 平成29年度で事業完了した。
---	---